

《めざす子ども像》

自分の思いが言える子

相手の気持ちかわかる子

いろいろなことに挑戦する子

6月の生活目標：校舎内での過ごし方を考えよう

ビオトープ守る！環境学習～3年生～

総合的な学習の時間のテーマを「大好き！東又の自然(しょうが・ビオトープ)」として、3年生は2本立てで探究的な学習を行っていきます。昨年2月に現在の4年生からビオトープの環境を守ることを引き継いだ3年生。6月13日(金)には、四万十市トンボ自然公園の杉村館長さん、野村さんに来ていただいてビオトープでの学習を行いました。これだけの規模のビオトープは県内でも少ないとのこと。しかしながら「水量も少なくビオトープがあまりの水草に覆われ、かなり厳しい状況である、そのためトンボの種類も激減している」との厳しいお話を聞き、今後環境を良くしていく方法をご指導いただきました。今回は、トンボ公園からトンボが好んで産卵する在来植物の「サイコクヒメコウホネ」を持ってきていただき、一人ずつプランターに植え付けトンボが止まるための竹ざおもさしました。竹ざおには、名札もつけていただいています。

今度の土曜日の愛校作業では、外来種の植物を取り除くことをしっかり行い、トンボが戻ってこられるような環境改善に努めていきたいと思っています。そのための水量を増やす方法も今後の課題です。(良い方法があればぜひ知恵を貸してください)



トンボさん、戻ってきてね！

ビオトープ トンボ復活を

四万十町・東又小 児童 水草植える

【窪川】四万十町黒石の東又小学校のビオトープで13日、トンボが生き生きとした環境を目指して児童が水草を植えた。トンボの種類と数が激減した状況を受け、授業内容を昨年までの捕獲重視から、水質向上に向けた地道な取り組みに転換した。

指導に当たった「トンボと自然を考える会(四万十市) 常務理事の杉村光俊さん(70)」によると、近年の温暖化などでトンボは全国的に激減。同校隣接地にある

「窪川」四万十町黒石の東又小学校のビオトープで13日、トンボが生き生きとした環境を目指して児童が水草を植えた。トンボの種類と数が激減した状況を受け、授業内容を昨年までの捕獲重視から、水質向上に向けた地道な取り組みに転換した。

指導に当たった「トンボと自然を考える会(四万十市) 常務理事の杉村光俊さん(70)」によると、近年の温暖化などでトンボは全国的に激減。同校隣接地にある

周囲ではわずか3種類のトンボが、まばらに飛び交うのみ。杉村さんは「本来ならこの時期、この場所では10種類は飛び交って当然。本日は皆に捕獲を奨励してほしいが、その余裕もなくなっている」と理解を求めた。トンボは光の反射で水面を認識する。水面を覆う外来植物がトンボを遠ざける上に水質悪化を招いているとして、同会職員らが根を除去した。

6月15日(日) 高知新聞



杉村 光俊さん

6年生「未来へつなぐ宝の山 遊べる・学べる・笑顔になれる」

6年生の総合的な学習の時間のテーマは『学び合う方法と実感 夢を語り合おう』です。1学期は「未来へつなぐ宝の山 遊べる・学べる・笑顔になれる」として、「山の学習」からスタートしました。学校林での活動や体験から、これからの学校林についてしっかり考えるための今年度の学習計画を立て、卒業証書の作成に向けて雁皮の伐採も予定しています。

5月28日（水）には学校林について深く関わってくださっている朝霧森林倶楽部の梶田 隆則さんに来ていただき「山の学習」を行いました。

「日本は、国土の66%（国土の約3分の2）が森林で世界有数の森林国であること」「森林には多くの役割があり私たちの生活を支えていること」「日本は森林資源豊富な国だが約6割は輸入している。これからは国内の木材利用を増やし持続可能な森へ再生させるために国産材も輸入材もバランスよく使用することが大切である」等 学校林を考えるための貴重なお話でした。また、併せて、朝霧森林倶楽部さんの課題としてメンバーの高齢化についても話されました。子ども達の中で、学校林で学んだことや協力いただいたことを生かすためにも将来メンバーに入って活動してくれれば・・・と期待しています。

朝霧森林倶楽部さんには、学校林を『潤いのある豊かな森』にするために、ボランティアで、愛校作業や学習の時間に合わせて、人を集めていただき協力してくださっています。県内には、全く活用されていない、また整備されていない学校林がたくさんあるようです。本校では皆さんのお陰で、子ども達が行きたくなる、守りたくなる学校林になっています。ほんとうにありがたいです。

今年の6年生が学校林で「やってみたいこと」が『潤いのある豊かな森』につながる取組になるように頑張りたいと思います。



梶田 隆則さん

学校林の樹木に木札をつけよう:6年生

昨年度の6年生の活動を引き継いで、今年度も下級生や地域の方が散策に来て分かりやすいように樹木に名札をつけました。朝霧森林倶楽部の浜田さん、梶田さんにガイドをしてもらい、確認をしながら学校林の遊具周辺の樹木に名札をつけました。

6年生の学校林での活動がスタートしました。今年も東又小学校でしか体験できない活動を通して、生きる力を身に付け心豊かに成長してくれることを願っています。



みんなに見てもらえるように付けました



遊具でもちょっぴり遊びました

愛校作業では、安全で楽しく活動ができるように学校林の整備作業をよろしくお願いします